

小学校第5学年 道徳学習指導案

日時 平成25年 11月 ○日(○)

指導者 理科専科 教諭 島田礼二

1 主題名

きまりの意味を考えて（4－（1）公德心、規則の尊重、遵法、権利・義務）

2 資料名

「これも、チェーンメール」（東京書籍5 希望を持って）

3 主題について

（1）ねらいについて

世の中の法やきまりの意義を理解して、これらを守る遵法の精神を持つことは、社会生活を営んでいく上でとても重要なことである。社会の一員としての役割の自覚や責任感を深めながら、法やきまりを主体的に守ろうとする態度を養うことが大切である。

現代は、パソコンや携帯電話等で、インターネットや電子メールのみならず、さまざまなSNSを自由に使える児童が増えてきている。その分トラブルに巻き込まれる危険性も高く、実際に問題を抱えているケースも見受けられる。本資料では、児童が陥りやすいチェーンメールを取り上げる。このような事象は実際に被害に遭うまでは、他人事と思いやすい面もある。ネット上のきまりも、社会生活上のきまりとしてその意味をよく考えて理解し守ろうとする態度を養いたい。

（2）児童の実態について

児童の実態は、以下の通りである。（男子10名、女子2名）

質問	A	B	C	D
① 道徳の学習はすきだ。				
② 道徳の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表することができている。				
③ 身の回りのきまりについて守れている。				
④ チェーンメールのことを知っている。				
⑤ ④の他に、ネットや電子メールに関するルールを知っている。				

（3）資料について

はるきに「子ネコを助けて」というチェーンメールが来た。「子ネコを助けるためだったら」とメールを回してしまう。翌日、よしなが先生に「チェーンメールはどんな内容でもいいけない」と注意される。ルールを守ることの厳しさや大切さを、はるきの心情に共感することで考えられるようにしたい。

(4) 指導にあたって

- 迷惑メールやコンピューターウイルスのみならず、チェーンメールがネットワークシステムに多大な影響を及ぼす危険があることを、しっかり理解させる。
- 「どんな内容でもチェーンメールはルール違反だ」ということを、資料の中からや教師の話から理解させる。
- 本時は意見交換の活動を中心に行い、ネット使用経験の差によって生じる理解の差を少なくしていく。積極的に発表するだけでなく、しっかり聞き、自分の意見を述べる時の参考にさせる。
- 教師の話では、ネットに関してのルールを守ることを理解することにとどまらず、生活の中にあるルールを守ることに結びつける内容を取り入れる。
- 友達の考えを尊重して聞く態度を育てるために、否定し合うことなく、支持的な雰囲気が進むように配慮を行う。共感的人間関係がある中で、児童が自分の考えを表現することへの自信をつけさせる。

ICT活用のポイント

① 教師の活用

- ・電子黒板で、資料の場面（挿絵）を提示し、考えるための手助けとなるようにする。
- ・生活の中での具体的な場面を画像（イラスト）で提示する。

4 本時の展開

(1) 目標 法やきまりの意味をよく考え理解し、これらを守ろうとする気持ちをもつことができる。
(道徳的実践意欲と態度)

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用
導入 10分	1 身の回りのきまりについて話し合う (T) きまりをなかなか守れないのは、どんなときでしょうか (C) 廊下を走ってしまう。 (C) 反射タスキをつけずに投稿してしまう。	○廊下の歩行やゴミのポイ捨てなど、具体的な場面を電子黒板に提示して考えるようにする。きまりの意味について考えることが本時の内容であることを理解させた上で資料につなげるようにする。	電子黒板
展開 25分	2 資料「これも、チェーンメール」を読んで話し合う。 (T) 送り先を選んで、送信ボタンをクリックしたとき、はるきはどんなことを考えたのでしょうか。 (C) チェーンメールでも、子ネコを助けるためだったら、みんなもわかってくれるだろう。 (C) 子ネコの飼い主が早く見つかるといいな。	○「チェーンメールは送ってはいけない」と知りつつも、子ネコを助けたいという使命感や、メールを回さないと不安な気持ちなどから送信してしまったはるきの心情を考えさせるようにする。 ○チェーンメールは、悪意が読み取れるメールのことだけだというイメージを持ってしまう「落とし穴」があることに気づかせるようにする。	電子黒板 ワークシート
	課題 (めあて) 「チェーンメールはルール違反でぜったいにしてはいけない。」と聞いて、はるきはどんなことを考えましたか。	徹底指導 (ポイント) ・チェーンメールがいけない理由をしつかりと押さえ「どんな内容であってもルール違反だ」ということを理解させる。 ○電子黒板で、資料の場面 (挿絵) を提示し、考えるための手助けとなるようにする。 ○自分自身の勝手な判断による失敗をしてしまったはるきの反省を考えさせるようにする。	電子黒板 ワークシート
終末 10分	3 よく考えて守らなければいけないきまりについて振り返る。 (T) チェーンメール以外にも、よく考えて守らなければいけないきまりには、どんなものがあるでしょう。 (C) 携帯電話はバスや電車の中では話さない。 (C) 音楽などを、勝手にコピーしたらいけない。 4 教師の話聞く。	能動型学習 (ポイント) 自分の生活や、友達の実験を参考にするなどして、振り返りができるようにする。 ◆評価 よく意味を考えてきまりを守ろうとする視点から、自分を振り返ることができたか。 (発言・ワークシート) ○ネット社会の危険性を指摘し、きまりを守る大切さについてまとめる。	電子黒板 ワークシート

